

右側結腸切除（SUR024）

ステップ名称			手術前1日目	手術			手術後1日目
			1日前	基準日			1日後
				手術前	手術中	手術後	
患者状態			■身体的準備ができている ・体温【適正値：≦37.5℃】 ・抗血小板剤・抗凝固剤が予定通り中止されている ・禁煙ができている	■麻酔から覚醒する ・開眼ができる ・意識清明である			■バイタルサインが安定している ・呼吸数【適正値：12～30回/分】 ・収縮期血圧【適正値：≧80mmHg】 ・心拍数【適正値：50～120回/分】
				■排泄液に問題がない ・ドレーン排泄性状			■呼吸状態に問題がない ・SP02【適正値：≧94%】
				■バイタルサインが安定している ・呼吸数【適正値：12～30回/分】 ・収縮期血圧【適正値：≧80mmHg】 ・心拍数【適正値：50～120回/分】 ■呼吸状態に問題がない ・SP02【適正値：≧94%】			■創部に問題がない ・ドレーン排泄性状 ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない ■疼痛のコントロールができている ・NRS【適正値：0/10～2/10】
				■疼痛のコントロールができている ・NRS【適正値：0/10～2/10】			
知識・教育・理解			■手術について理解できる ・オリエンテーション内容を言える ・手術・麻酔に対する不安の訴えがない ・説明内容に疑問・不信感の表出がない ・入院経過を言える				
生活動作・日常生活動作・リハビリ							
新規-大分類							
投薬							 術後内服
注射					 手術室で点滴を行います。	 術後に点滴があります。	 点滴があります。
							 血栓を予防する注射を行います
							 術後に抗生剤を投与します。
処置					 心電図モニターを装着します。	 心電図モニターを装着します。	
					 指に酸素濃度モニターをつけます。	 指に酸素濃度モニターをつけます。	
					 傷後、酸素を使用します	 傷後、酸素を使用します	
					 腹部に排泄液用のチューブがつかます。	 腹部に排泄液用のチューブがつかます。	
医師	指導						
	指示		 1日2回、血圧などの測定があります。	 手術前に血圧などの測定があります。	 尿道バルンが入っています。	 ベッドの頭側を高くします。	 1日4回、血圧などの測定があります。
			 体重測定があります。	 弾性ストッキングを着用していただきます。	 弾性ストッキングを着用していただきます。	 弾性ストッキングを着用していただきます。	 弾性ストッキングを着用していただきます。
			 昼食以降絶食になります。水分は飲んでいただいても構いません。				
			 夕食後から経口補水飲料を飲んでいただきます。	 夕食後から経口補水飲料を飲んでいただきます。		 術後はこまめに血圧などの測定があります。	 朝から水分が飲めます。
			 中止薬以外の薬は夕方まで内服していただきます。			 術後は酸素マスクがつかます	 術後は酸素マスクがつかます
対症指示							
							
検査	検体検査		 入院時採血			 術後に血液検査があります	 血液検査があります。
	生理検査						
	放射線					 手術後にレントゲン検査を行います	 ベッド上でのレントゲン検査があります
	その他						
輸血							
手術					 手術を行います		
看護	日常生活ケア	清潔	 入院前に自宅で入浴してきてください。	 手術前にシャワー浴があります。		 口腔ケアをお手伝いします	 身体拭きをし、着替えをします
		排泄		 手術着に着替えていただきます。			
	指導・教育		 手術時間につき説明します。	 指輪・コンタクトレンズ・義歯などをはずします。		 肺塞栓予防につき説明します。	 肺塞栓予防につき説明します。
			 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。	 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。		 手術後、医師よりご家族に説明があります。	 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。
			 禁煙指導します。	 ご家族に手術室・手術中待機場所への案内をします。			
			 弾性ストッキングのサイズを測定します。				
観察			 術前経口補水について説明します。				
			 手術後の呼吸方法、痰の出し方、寝ながらの咳、肺塞栓予防の下肢運動訓練の説明を行います。				
その他			 入院前に爪を切ってください。				 歩行を助します。
			 マニキュア・ジェルネイルをしている方は入院前に落としてください。				 離床できれば弾性ストッキングは不要です。
食事			 昼まで食事があります。昼以降は絶食です。	 経口補水液を指定時間まで摂取します。その後絶飲食です。	 絶食です。	 絶食です。	 朝より水分可です。
栄養指導							
リハビリ			 術前にリハビリテーションがあります。			 手術後リハビリがあります	 手術後リハビリがあります
文書							
カルテ	医師 看護師 コメディカル						
コメント			 手術を安全に行い、術後は順調に回復していただけるよう心がけます。				
			 手術に必要な物品 100入羞物品【バスタオル2枚、タオル1枚、ティッシュ1箱、歯ブラシ1本、歯磨き粉1個、入れ歯ケース（必要な方） 電動髭剃り（男性）、薬のみ1個、パジャマ（前開き）1着 パンツ2枚、腹帯（マジックテープ付式）2枚				
指導料・加算							

右側結腸切除（SUR024）

ステップ名称			手術後2日目	手術後3日目	4日後	5日後	6日後
			2日後	3日後	4日後	5日後	6日後
患者状態			■呼吸状態に問題がない ・SP02【適正值：≧94%】	■呼吸状態に問題がない ・SP02【適正值：≧94%】	■呼吸状態が安定している ・酸素吸入の必要がない	■感染の徴候がない ・体温【適正值：≦38.0℃】	■感染の徴候がない ・体温【適正值：≦38.0℃】
			■創部に問題がない ・ドレーン排液性状 ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない ■疼痛のコントロールができている ・NRS【適正值：0/10～2/10】	■創部に問題がない ・ドレーン排液性状 ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない ■疼痛のコントロールができている ・NRS【適正值：0/10～2/10】	■創部に問題がない ・ドレーン排液性状 ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない ■疼痛のコントロールができている ・NRS【適正值：0/10～2/10】	■呼吸状態が安定している ・酸素吸入の必要がない	■栄養摂取ができる ・食事開始後に腹痛の訴えがない
						■創部に問題がない ・ドレーンが抜去できる ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない ■疼痛のコントロールができている ・NRS【適正值：0/10～2/10】	■創部に問題がない ・ドレーンが抜去できる ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない ■疼痛のコントロールができている ・NRS【適正值：0/10～2/10】
知識・教育・理解							
生活動作・日常動作・リハビリ			■離床ができる ・立位・歩行ができる	■離床ができる ・立位・歩行ができる	■離床ができる ・立位・歩行ができる		
新規-大分類							
投薬							
注射			 点滴があります。	 点滴があります。	 点滴があります。	 点滴があります。	 血栓を予防する注射を行います
			 血栓を予防する注射を行います	 血栓を予防する注射を行います	 血栓を予防する注射を行います	 血栓を予防する注射を行います	
医師	処置		 指に酸素濃度モニターをつけます。				
			 腹部に排液用のチューブがつけます。	 腹部に排液用のチューブがつけます。	 腹部に排液用のチューブがつけます。	 腹部に排液用のチューブがつけます。	 腹部に排液用のチューブがつけます。
	指導						
	指示		 1日4回、血圧などの測定があります。	 1日4回、血圧などの測定があります。	 1日2回、血圧などの測定があります。	 1日1回、血圧などの測定があります。	 1日1回、血圧などの測定があります。
			 弾性ストッキングを着用していただきます。	 尿道バルンを抜きます。			
			 術後は酸素マスクがつけます	 術後は酸素マスクがつけます	 術後は酸素マスクがつけます	 術後は酸素マスクがつけます	 術後は酸素マスクがつけます
							
							
	対症指示			 背中の上硬膜外カテーテルを抜去します			
検査	検体検査			 血液検査があります。		 血液検査があります。	
	生理検査						
	放射線			 レントゲン検査があります			
	その他						
輸血							
手術							
看護	日常生活ケア	清潔	 全身清拭をします。	 全身清拭をします。	 全身清拭をします。	 全身清拭をします。	 全身清拭をします。
		排泄		 尿を溜めていただきます。	 尿を溜めていただきます。	 尿を溜めていただきます。	
		その他					
	指導・教育		 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。	 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。	 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。	 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。	 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。
	観察						
	その他						
食事			 昼から濃厚流動食がです。	 濃厚流動食	 朝から全かゆが出ます	 低残渣食	 低残渣食
栄養指導							 退院後の食事について栄養士より説明があります。
リハビリ			 手術後リハビリがあります	 手術後リハビリがあります	 手術後リハビリがあります	 手術後リハビリがあります	 手術後リハビリがあります
文書							
カルテ	医師 看護師 コメディカル						
コメント							
指導料・加算							

右側結腸切除（SUR024）

ステップ名称			7日後	8日後	9日後	10日後
			7日後	8日後	9日後	10日後
患者状態			■感染の徴候がない ・体温【適正値：≦38.0℃】	■感染の徴候がない ・体温【適正値：≦37.5℃】	■感染の徴候がない ・体温【適正値：≦37.5℃】	■感染の徴候がない ・体温【適正値：≦37.5℃】
			■呼吸状態が安定している ・酸素吸入の必要がない	■食事摂取ができる ・嘔気・嘔吐がない	■食事摂取ができる ・嘔気・嘔吐がない	■食事摂取ができる ・嘔気・嘔吐がない
			■栄養摂取ができる ・食事開始後に腹痛の訴えがない	■便の性状に問題がない ・便性状	■便の性状に問題がない ・便性状	■便の性状に問題がない ・便性状
			■創部に問題がない ・ドレーンが抜去できる ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない ■疼痛のコントロールができている ・NRS【適正値：0/10～2/10】	■創部に問題がない ・ドレーンが抜去できる ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない	■創部に問題がない ・ドレーンが抜去できる ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない	■創部に問題がない ・ドレーンが抜去できる ・創離開がない ・発赤・腫脹・出血・滲出液がない
知識・教育・理解						■日常生活の注意点について理解できる ・退院後の生活に対する不安の訴えがない ・退院後の日常生活のわからないことを聞くことができる
生活動作・日常動作・リハビリ						
新規-大分類						■退院もしくは転院できる
投薬						
注射			 血腔を予防する注射を行います			
医師	処置					
			 腹部に排液用のチューブがつけます。			
	指導		 1日1回、血圧などの測定があります。	 1日1回、血圧などの測定があります。	 1日1回、血圧などの測定があります。	 1日1回、血圧などの測定があります。
	指示		 術後は酸素マスクがつけます	 術後は酸素マスクがつけます	 術後は酸素マスクがつけます	 術後は酸素マスクがつけます
						
						
	対症指示					
検査	検体検査		 血液検査があります。			
	生理検査					
	放射線					
	その他					
輸血						
手術						
看護	日常生活ケア	清潔	 全身清拭をします。	 全身清拭をします。  シャワー浴ができます。	 全身清拭をします。  シャワー浴ができます。	 全身清拭をします。  シャワー浴ができます。
		排泄				
		その他				
	指導・教育		 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。	 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。	 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。	 クリニカルパス（入院生活の流れ）について説明します。
	観察					
	その他					
食事			 低残渣食	 低残渣食	 低残渣食	 低残渣食
栄養指導						
リハビリ			 手術後リハビリがあります	 手術後リハビリがあります	 手術後リハビリがあります	 手術後リハビリがあります
文書						
カルテ	医師 看護師 コメディカル					
コメント						
指導料・加算						